

G

-ECS NEWS

編集・発行人/高橋 進 発行所/株式会社三誠ジー・エクス・パイル事務局 本社 〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町4-3 国際箱崎ビル3F
TEL:03-3639-5226 FAX:03-3639-8162 ホームページ <http://www.sansei-inc.co.jp>

2012 Jan. Vol.14

進化する
三誠

街を、暮らしを、支える杭へ。
三誠の新しいステージが始まった！

2012年、
三誠の新たな挑戦。

あけましておめでとうございます。昨年は格別の御厚情を賜り、厚く御礼を申し上げます。おかげ様で創業20周年が2年先に見えてきた本年も、皆様にいつそうご満足いただける商品・サービスの提供に努めて参る所存です。どうぞよろしくお願いいたします。

私たち三誠にとって、2011年は一つの転機とも言える年になりました。まずは3月11日に起こった東日本大震災。この影響を受け、2月～4月の第一四半期売上高は前年度より大幅ダウンしましたが、この遅れを取り戻し大幅に伸びたのが建築分野でも土木分野でもない、「未来の分野」へのジー・エクス・パイル採用でした。
ジー・エクス・パイルは「未来の分野」へ、新たな需要が拡大中。

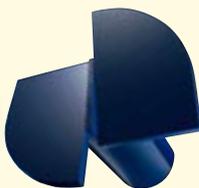
今、鋼管杭は従来の市場から脱却し、さまざまな用途へと市場を拡大していくことが求められています。中でも私たちが数多く引合いをいただき、力を注いでいるのがメガソーラー発電システムの基礎工事です。コンクリート基礎を排し、ジー・エクス・パイルと上部構造物を直接接続する

ECS・TPの斬新な技術が高い評価をいただいています。さらに、ソーラーパネルメーカー、架台メーカーと連携し、それぞれの専門分野から意見を出し合うことで、すべてを包括した御見積をお出しする取り組みをしています。他にも、小型施工機の難しい石油プラント内の配管ラックなどや農業用倉庫の防護壁などにも最適な工法としてご採用いただいています。

今年、東日本大震災復興や新クリーンエネルギー政策によるメガソーラー発電システムの基礎工事など、新たな需要が見込まれる分野へ注力するほか、「引抜き方向支持力性能証明」の取得、情報提供システムNETISへの登録によって参入が本格化した土木分野でもシェア拡大を目指します。

従来の鋼管杭にはない、
新たな活用方法が
生まれています。

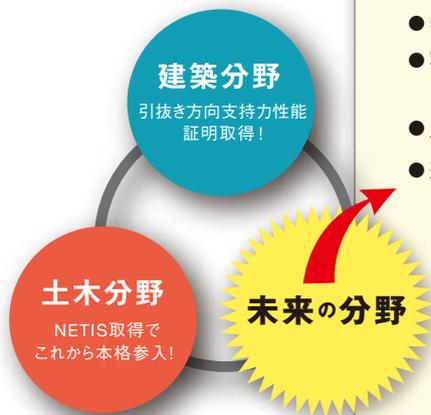
- ソーラーパネルの架台
- 看板の基礎
- 石油化学プラント内の配管ラック等
- 農業用倉庫の防護壁
- 通信鉄塔の基礎 など



どんな案件でも、
まずはご相談ください。

2012

3分野が一体となって、案件ごとに最適なお提案をいたします。



従来の建築分野から、土木分野、そして未来の分野へ。ジー・エクス・パイルは私たちの予測すら超えた、これまでにない拡がりを見せています。お困りの案件などがございましたら、まずは私たちに相談ください。あらゆる視点から、お客様の案件に最適なご提案をいたします。

昨年6月に(財)日本建築総合試験所より取得した、「引抜き方向支持力性能証明」は、業界初の大規模な特徴。さらに同種他工法トップを誇るK1156の先端抵抗係数を有し、今後ますます重要視される耐震性において、強力な性能を発揮することが証明されました。7月には国交省の厳しい審査をクリアした新技術のみが登録される、インターネット情報提供システムNETIS(登録番号:0110006-A)への登録の認可も下りています。



MONTHLY
Topics

今月のトピックス

小口径杭に新提案
「無溶接継手工法」いよいよ発表
昨年より開発を進めていた、「無溶接継手工法」を今年3月に発表いたします。

小口径杭では業界初となる、継手部分にリングを使用した本工法は、溶接と同程度の強度を持ちながら、現場での溶接作業で懸念される天候や火気厳禁等の作業環境に左右されないという革新的な工法です。詳しくは、三誠営業部までお問い合わせください。

自動溶接ロボットECS-AW
採用続々

昨年6月の発表以来、学校、病院など公共物件にも多数採用されています。溶接部分の質の向上、コストダウンを目指しており、今後自動溶接ロボットの台数を増やして三誠の標準施工にしてまいります。

東北、関西エリアでも
引合い好調

皆様にご支援いただき、東北エリア、2010年に営業所を開設した関西エリアでも順調にシェアを拡大しております。今年も引き続き東日本大震災の災害復旧工事への取り組み、関西営業所での地域密着型サービスの提供に努めます。

G-ECS パイル

神奈川県川崎市市道擁壁

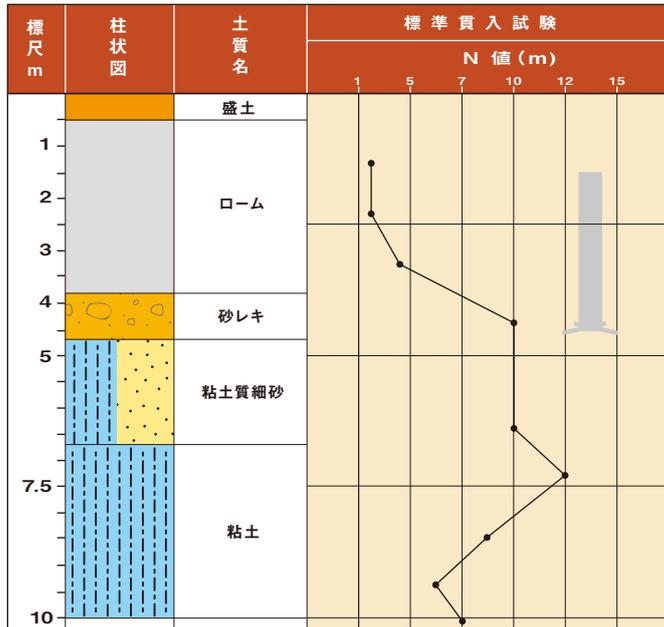
斜面に隣接した難易度の高い現場にも柔軟に対応。

川崎市発注の市道擁壁工事です。市道の法面補強工事ですが、法面下に私鉄の線路、駅舎があり施工条件が厳しい現場でした。安全性、短工期、経済性などを評価していただき採用に至りました。斜面に隣接しての工事のため、施工時のバランスを考慮して施工機械はあらかじめ短尺仕様で組替え、夜間市道を封鎖して作業しました。

【施工年月：平成23年1月】



ボーリング柱状図



構造物概要

名称	市道百合丘2号線道路防護(擁壁)工事	本数	38本
施工場所	神奈川県川崎市	杭先端深度	GL-4.5m
用途	擁壁		
設計支持力	122.23kN		
先端N値	10		
杭の種類	φ216.3 t=8.2mm L=3.0m		

G-ECS パイル

秋田県井川町立井川中学校

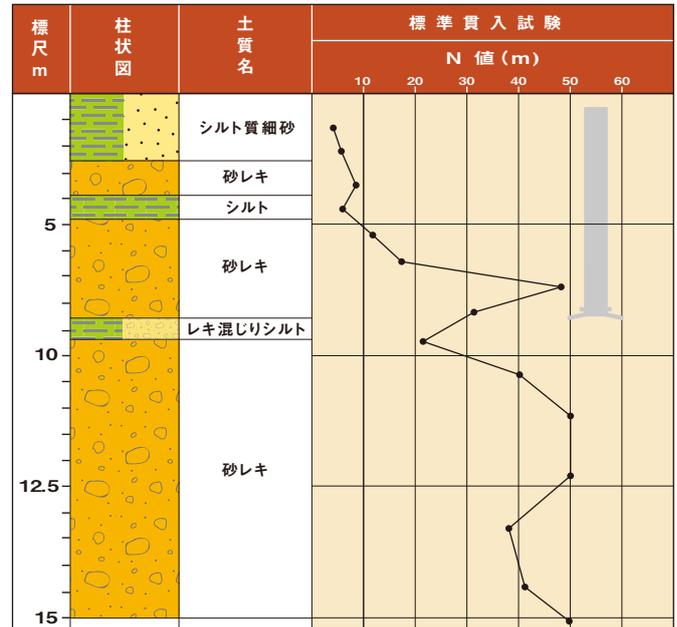
公共事業初の自動溶接ロボットECS-AWを採用。

支持層の不陸が予想される地盤で事前に杭長を決めることが困難であったため、施工時に杭長を追加できる鋼管杭が採用されました。実際に施工時の管理データから支持層到達が確認できない部分は杭長を追加して対応。また、公共事業で始めて自動溶接ロボットによるECS-AW工法が採用され、杭溶接の品質を向上させることができました。

【施工年月：平成22年12月～平成23年1月】



ボーリング柱状図



構造物概要

名称	井川町立井川中学校改築工事(校舎棟)	杭の種類	φ267.4 t=8.0mm L=8.0m φ216.3 t=8.2mm L=8.0m
施工場所	秋田県南秋田郡井川町	本数	φ267.4 12本 φ216.3 8本
用途	学校	杭先端深度	GL-8.5m
設計支持力	φ267.4 442kN φ216.3 305kN		
先端N値	25		